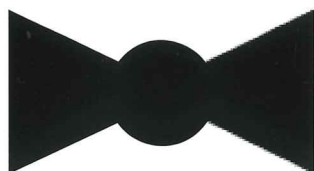


オーケストラ わや



シューマン

『マンフレッド』序曲 作品115

エルガー

チェロ協奏曲 ホ短調 作品85*

ブラームス

交響曲 第3番 ヘ長調 作品90

指揮：和田一樹

チェロ独奏：横坂源*

第3回演奏会

2025年9月15日(月・祝)

13:15 開場 / 14:00 開演

入場無料・全自由席

東海市芸術劇場 大ホール

名鉄常滑線 太田川駅南口すぐ

主催：オーケストラ わや

お問い合わせ：wayaoke.oumasan@gmail.com



X(旧Twitter)



Instagram

オーケストラ わや 第3回演奏会

第3回演奏会は、第1回演奏会に引き続き和田一樹氏を指揮に、そして横坂源氏をチェロ独奏としてお迎えし、ブラームスと、彼と関係の深いシューマン・エルガーによって作曲された様々な形の「愛」をテーマとした作品に取り組む！！

出演

和田 一樹（指揮）

ルーマニアで開催された第6回ブカレスト国際指揮者コンクールにて準優勝。その後、ヤシ・モルドヴァ・フィルハーモニー管弦楽団を指揮しヨーロッパデビュー。オーケストラと聴衆から熱狂的に支持され、楽団の総監督より「最年少最優秀客演指揮者」の称号を受けて以降、毎シーズンの客演を続けている。
ドラマ「のだめカンタービレ」、映画「マエストロ!」「くちびるに歌を」「モヒカン故郷に帰る」において指揮指導を担当。CMや劇伴などレコーディング多数。また京王電鉄・京王ライナーオリジナル BGM を作曲。
東京フィルハーモニー交響楽団「午後のコンサート」で自身の指揮で初演された。これまでに、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、東京吹奏楽団、群馬交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、富士山静岡交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、愛知室内オーケストラ、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ、広島交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、九州交響楽団、富士山静岡交響楽団、VIVIDBRASSTOKYO、横浜シンフォニエッタ、東京混声合唱団、ロンドリーナフェスティバルオーケストラ、ジョルジェ・エネスク・フィルハーモニー管弦楽団、ヤシ・モルドヴァ・フィルハーモニー管弦楽団などと共演。国内外で指揮活動を展開している。



(C)RINZO

横坂 源（チェロ）

新潟市出身。桐朋学園女子高等学校（男女共学）、同ソリストディプロマ・コースを経て、シュトゥットガルト国立音楽大学、並びにフライブルク国立音楽大学で研鑽を積む。
2002年、全日本ビバホール・チェロコンクール史上最年少(15歳)で第1位。2005年出光音楽賞、2008年齋藤秀雄メモリアル基金賞、2010年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位、2012年ホテルオークラ音楽賞など多数受賞。2009年には、全ドイツ学生音楽コンクール室内楽部門で第1位を受賞。
13歳で東京交響楽団とサン・サーンスのチェロ協奏曲を共演したのを皮切りにソリストとしてデビューし、2019年/2020年には演奏活動20周年を迎え、ドイツでW ürtth PhilharmonikerとS.スヴィリドフのチェロ協奏曲『つばき』の新作委嘱・世界初演と東京交響楽団（齋藤友香理指揮）との日本初演を行った。また、日本フィルハーモニー交響楽団（山田和樹指揮）とM.ルグランのチェロ協奏曲の日本初演を果たした。2021年2月には、NHK交響楽団（尾高忠明指揮）とショスタコーヴィチのチェロ協奏曲を協演。2023年には野平一郎指揮「三善晃：チェロ協奏曲第2番『罌つり星』」に取り組むなど、目覚ましい躍進を続けている。録音では、2024年11月リリースの新譜「R.シュトラウス&ラフマニノフ（ピアノ：沼沢淑音）」ほか、2016年「J.S.バッハ：ガンパ・ソナタ集（ピアノ：藤井一興）」、2020年「シューマン&メンデルスゾーン（ピアノ：加藤洋之）」をリリースし、レコード芸術誌で特選盤に選ばれた。現在最も幅広い演奏活動を展開するチェリストの一人である。



(C)Sotaro Goto

オーケストラ わや

オーケストラわやは、名古屋大学交響楽団のOBOGを中心に、名古屋近郊の愛好家たちが集まって2023年結成されたアマチュアオーケストラで、年1回の演奏会を主な活動として取り組んでいる。方言で「めちゃくちゃな」という意味がある「わや」を団体名に掲げ、オーケストラが持っている既存のイメージにとらわれず、演奏機会が多くない作品や、オーケストラの演奏会で取り上げられる機会の少ないジャンルとの共演などを含み、演奏会の開催に意欲的に取り組むことを目標としている。また、字や響きを持つイメージから、分け隔てなく、団員同士和気あいあいとした雰囲気で行き、音楽には真剣に取り組みながら楽しく活動することを大切にしたいという思いも「わや」には込められている。

東海市芸術劇場 アクセス

公共交通機関でのご来場



お車でのご来場

